

平成27年度上半期業績のご報告



日本海しんきん 半期開示レポート

日本海信用金庫の平成27年度上半期(平成27年4月1日～9月30日)における
経営情報についてご報告いたします。

経営方針

1. 「日本海信用金庫ブランド」の確立

- 顧客満足度(CS)の向上
- 社会的責任(CSR)への対応
- 法令等遵守(コンプライアンス)の徹底

2. 「絆の経営」の実践

- 地域再生、活性化への積極的な支援
- 地域課題解決への協力
- 地域産業再生への支援
- 魅力ある商品、サービスの開発

3. リスク管理体制の強化とガバナンスの向上

- 統合的リスク管理への適切な対応
- 内部統制機能及びガバナンスの向上

4. 人材の育成

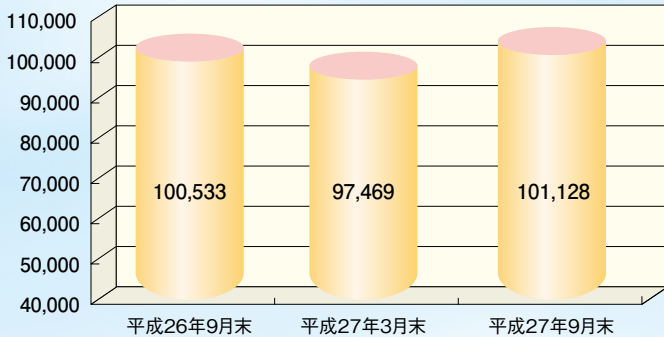
- 人間性あふれる優れた人材の育成
- 「人間力」豊かな課題解決型金融を担う人材の育成

I 預金残高推移・内訳

地域のお客様のご支援により、預金積金は前年同月比595百万円増加の101,128百万円と堅調に推移しました。
また、預金積金残高のうち個人預金が74.63%、一般法人預金が19.45%を占めております。

●預金残高の推移

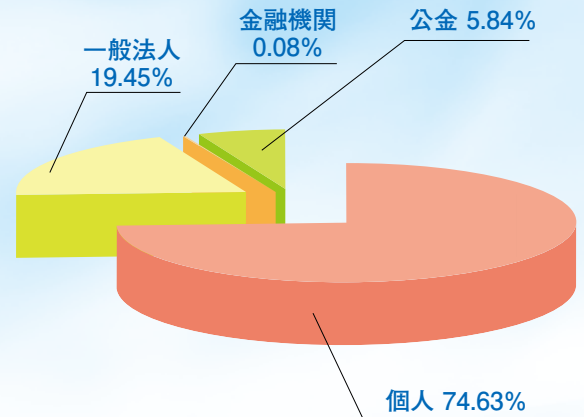
(単位:百万円)



(単位:百万円)

	平成26年9月末	平成27年3月末	平成27年9月末
個人合計	75,279	75,659	75,472
法人合計	25,253	21,809	25,655
うち一般法人	18,928	19,835	19,665
うち金融機関	133	90	83
うち公金	6,191	1,883	5,907
預金積金合計	100,533	97,469	101,128

●預金者別残高の割合(平成27年9月末)



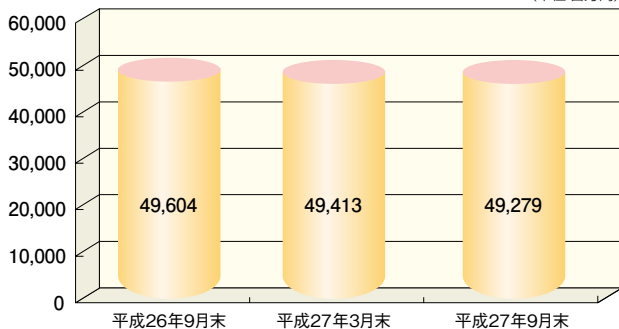
II 貸出金残高推移・内訳

貸出金は前年同月比325百万円減少の49,279百万円となりました。

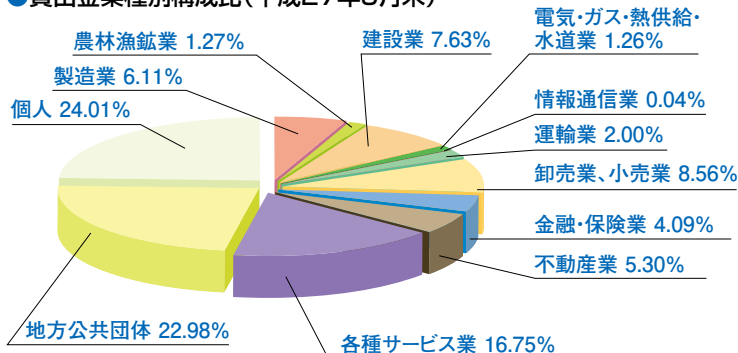
日本海しんきんは、地域金融機関としてお客様からお預かりした資金を地元の皆様に幅広くご利用いただいています。
また、特定の業種やお客様に偏ることのないように留意するとともに、小口多数取引の推進に努め、貸出金資産の健全性を維持、向上していきたいと考えています。

●貸出金残高の推移

(単位:百万円)



●貸出金業種別構成比(平成27年9月末)



(単位:百万円)

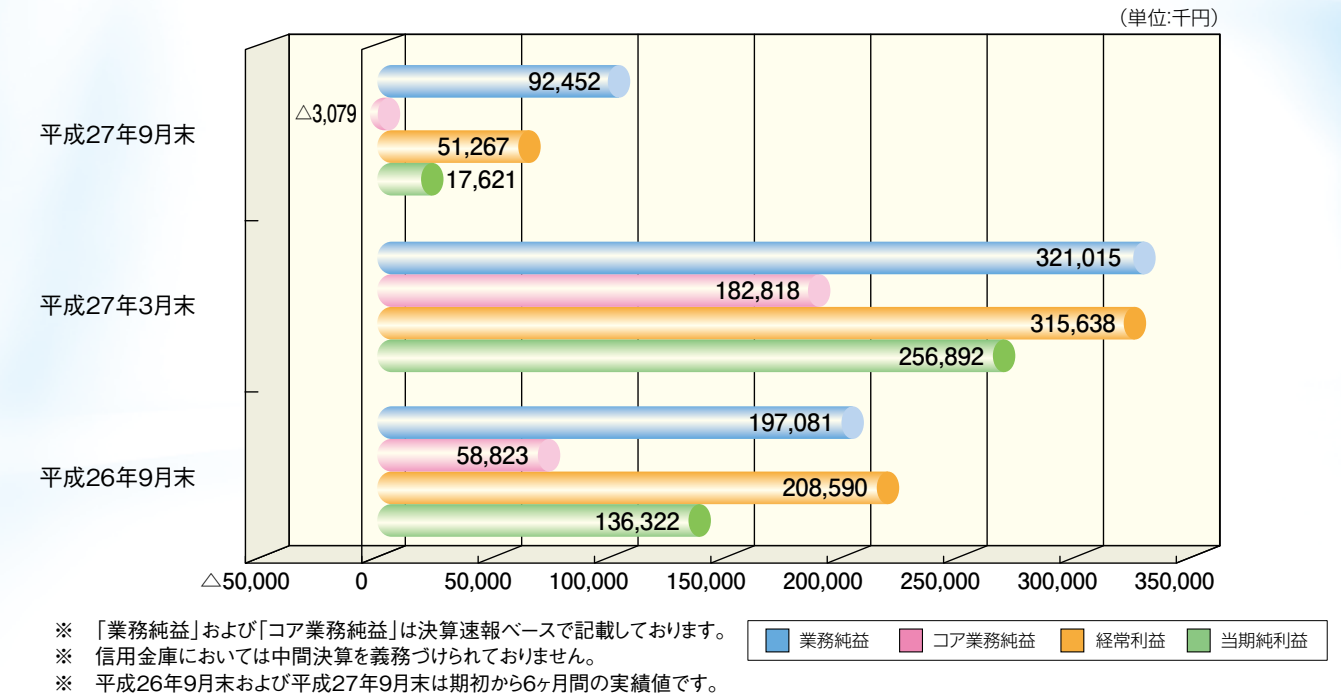
日本標準産業分類	平成26年9月末	平成27年3月末	平成27年9月末	貸出金業種別構成比の分類
製造業	3,107	3,082	3,010	製造業
農業、林業	211	243	223	農林漁業
漁業	309	238	321	農林漁業
鉱業、採石業、砂利採取業	88	95	82	農林漁業
建設業	3,932	3,687	3,759	建設業
電気・ガス・熱供給・水道業	421	552	622	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	3	25	22	情報通信業
運輸業、郵便業	1,028	997	985	運輸業
卸売業、小売業	4,392	4,298	4,218	卸売業、小売業
金融業、保険業	1,913	2,013	2,015	金融・保険業
不動産業	2,495	2,625	2,609	不動産業
物品賃貸業	394	301	285	不動産業
学術研究、専門技術サービス業	316	324	306	各種サービス
宿泊業	1,845	1,523	1,489	各種サービス
飲食業	745	786	808	各種サービス
生活関連サービス業、娯楽業	1,253	1,266	913	各種サービス
教育、学習支援業	1,544	1,492	1,507	各種サービス
医療、福祉	1,359	1,549	1,391	各種サービス
その他のサービス	1,623	1,636	1,553	各種サービス
小計	26,986	26,743	26,126	小計
地方公共団体	10,587	10,629	11,322	地方公共団体
個人(住宅消費・消費貸付等)	12,030	12,041	11,830	個人
合計	49,604	49,413	49,279	合計

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

III

損益の状況

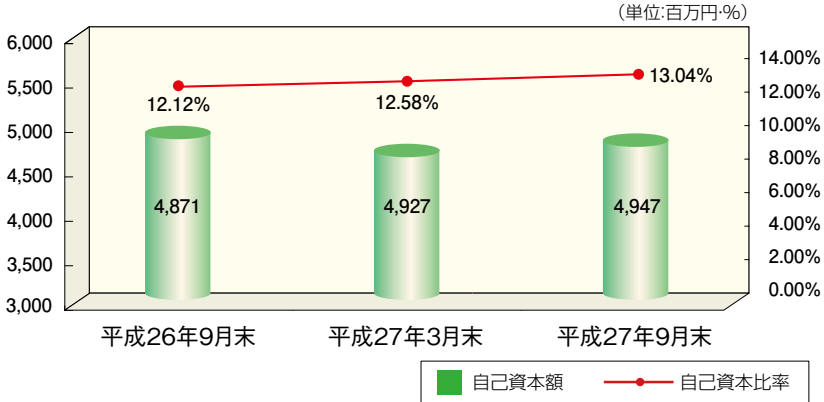
平成27年上期の業績は、業務純益92,452千円、経常利益51,267千円、当期純利益17,621千円となりました。“地域の責任金融機関”として、皆さまの期待にお応えすべく、役職員一同鋭意努力いたす所存であります。



IV

自己資本比率について

自己資本比率とは、金融機関が保有する資産に対する自己資本の割合をいいます。金融機関の健全性・安全性といった基礎体力を見るうえで、重要な指標となっています。日本海しんきんの自己資本比率は13.04%と平成27年3月期と比較しますと0.46ポイント上昇し、国内基準である4%を大幅に上回っております。



(単位:百万円・%)

項 目		平成26年9月末	平成27年3月末	平成27年9月末
自 己 資 本 額	コア資本に係る基礎項目	4,873	4,934	4,949
	コア資本に係る調整項目(▲)	1	6	2
	計(A)	4,871	4,927	4,947
リ ス ク ・ ア セ ッ ト	オン・バランス項目	36,579	35,702	34,521
	オフ・バランス取引等項目	403	326	262
	CVAリスク相当額を8%で除して得た額	6	8	15
	中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0	0	0
	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	3,174	3,116	3,116
	リスクアセット等計(B)	40,163	39,154	37,916
自 己 資 本 比 率	(A)/(B)×100	12.12%	12.58%	13.04%

注1:自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

V

金利リスクに関する事項

銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの（例：貸出金・有価証券・預け金・預金積金等）について、金利変動により発生するリスク量をみるものです。当金庫の平成27年9月末の金利リスク量は、過去5年間の金利変動データに基づき統計処理（99%タイル値）によって求められた金利変動幅を使用した場合、677百万円となりました。なお、要求払預金（普通預金、当座預金等）の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がありません。お客様の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、要求払預金の50%相当額を期間帯「1年超3年以内（平均2.5年）」に全額置き、リスク量を算定しています。

(単位:百万円)

	平成26年9月末	平成27年3月末	平成27年9月末
金利ショックに対する損益・経済価値の増減額	704	597	677

VI

有価証券の時価情報

●売買目的有価証券

平成27年3月末、平成27年9月末とも該当ございません。

●満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	平成27年3月末			平成27年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が 貸借対照表計上額を 超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	68	70	2	65	66	0
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	100	100	0	100	100	0
	小 計	168	171	2	165	167	1
時価が 貸借対照表計上額を 超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	0	0	△ 0	0	0	△ 0
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	1,400	1,313	△ 86	2,300	2,167	△ 132
	小 計	1,400	1,314	△ 86	2,300	2,167	△ 132
合 計		1,569	1,485	△ 83	2,466	2,334	△ 131

(注) 1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●子会社・子法人等株式および関連法人等株式

平成27年3月末、平成27年9月末とも該当ございません。

●その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成27年3月末			平成27年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えるもの	株 式	56	51	4	16	14	1
	債 券	18,977	18,319	658	18,723	18,151	572
	国 債	2,584	2,400	183	3,203	3,008	194
	地 方 債	2,043	1,962	80	2,827	2,742	84
	社 債	14,349	13,955	394	12,693	12,400	292
	そ の 他	5,323	4,999	324	5,078	4,807	271
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えないもの	小 計	24,357	23,369	987	23,818	22,973	844
	株 式	7	7	△ 0	81	94	△ 12
	債 券	1,098	1,101	△ 3	1,590	1,596	△ 6
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	397	400	△ 2
	社 債	1,098	1,101	△ 3	1,192	1,196	△ 4
合 計	そ の 他	625	658	△ 33	1,807	1,914	△ 107
	小 計	1,730	1,768	△ 37	3,478	3,606	△ 127
合 計		26,088	25,137	950	27,297	26,579	717

(注) 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	49	81
非 上 場 投 資 信 託	209	209
組 合 出 資 金	31	31
合 計	291	323

●金銭の信託

平成27年3月末、平成27年9月末とも該当ございません。

●第102条第1項第5号に掲げる取引

平成27年3月末、平成27年9月末とも該当ございません。

VII 不良債権への取り組み状況について

日本海しんきんは、每期「金融検査マニュアル」等に基づき、厳格な自己査定を実施し、積極的な不良債権処理を行っております。不良債権に対する保全には貸倒引当金を計上する等万全を期しております。平成27年9月期の不良債権とされる合計額は4,535百万円となりましたが、約93%は担保、保証、貸倒引当金等でカバーされており、健全性・安全性に問題はありません。

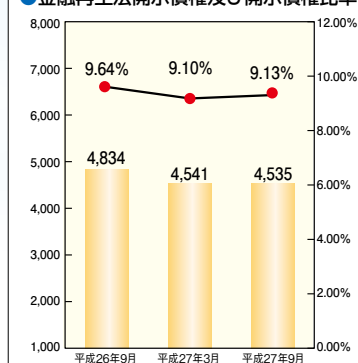
●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

		開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による 回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率 (b)/(a-c)	引当率 (d)/(a-c)
①破産更生債権及び これらに準ずる債権	H27年3月	1,617	1,617	644	972	100.00%	100.00%
	H27年9月	1,593	1,593	620	973	100.00%	100.00%
②危険債権	H27年3月	2,679	2,499	2,029	470	93.28%	72.30%
	H27年9月	2,704	2,515	2,022	492	92.98%	72.19%
③要管理債権	H27年3月	245	111	99	11	45.36%	7.78%
	H27年9月	237	109	98	10	46.17%	7.88%
④小計(①+②+③)	H27年3月	4,541	4,228	2,774	1,453	93.08%	82.24%
	H27年9月	4,535	4,218	2,741	1,476	93.00%	82.31%
⑤正常債権	H27年3月	45,315					
	H27年9月	45,122					
⑥合計(④+⑤)	H27年3月	49,857					
	H27年9月	49,657					

- 注) 1 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
 4 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、上記以外の債権をいいます。
 5 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

●金融再生法開示債権及び開示債権比率



棒グラフ……金融再生法開示債権額(単位:百万円)
折れ線グラフ……開示債権比率(単位:%)

VIII トピックス

国府海岸クリーン作戦参加(浜田)



江の川祭り参加(江津)



100キロウォーク参加(益田)



後継経営者育成塾「せがれ塾」



○当金庫の事業地域拡張について

当金庫は、このたびの総代会において、島根県一円を事業地区に拡大するための定款変更決議を行い、中国財務局より正式認可の運びとなりましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

IX 商品のご案内



事業所の名称および所在地

店舗一覧 (平成27年10月末現在)

●本	店	〒697-0027	浜田市殿町83番地1	TEL 0855-22-1850
●西	支店	〒697-0045	浜田市京町58番地	TEL 0855-22-0358
●東	支店	〒697-0033	浜田市朝日町1550番地	TEL 0855-22-0357
●長	浜支店	〒697-0063	浜市長浜町1528番地2	TEL 0855-27-0305
●駅	前支店	〒697-0022	浜田市浅井町1583番地	TEL 0855-22-3700
●三	隅支店	〒699-3211	浜田市三隅町三隅1373番地	TEL 0855-32-2500
●旭	町支店	〒697-0425	浜田市旭町今市365番地3	TEL 0855-45-1313
●益	田支店	〒698-0026	益田市あけぼの町10番地3	TEL 0856-23-3456
●長	沢支店	〒697-0023	浜市長沢町3036番地	TEL 0855-22-4180
●都	野津支店	〒695-0021	江津市都野津町2280番地	TEL 0855-53-0306
●浅	利支店	〒695-0002	江津市浅利町78番地1	TEL 0855-55-1090
●国	府支店	〒697-0006	浜田市下府町1671番地3	TEL 0855-28-0205
●江	津支店	〒695-0016	江津市嘉久志町2305番地9	TEL 0855-52-2620

●は土、日、祝日ATM稼働店

店外ATMコーナー (平成27年10月末現在)

●ゆめタウン浜田店出張所	●プリル出張所	●済生会江津総合病院出張所
●新町出張所	●周布出張所	●グリーンモール出張所
●笠柄出張所	●イオン益田店出張所	
●シティバルク浜田出張所	●ジュンテンドー江津出張所	●は土、日、祝日ATM稼働店



帆いっぱい、夢をはらんで。

日本海信用金庫

〒697-0027 島根県浜田市殿町83番地1
TEL (0855) 22-1851 FAX (0855) 22-7858



日本海信用金庫では、スマートフォン向けコミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」において「LINE@」のアカウントを開設しました。
日本海しんきんからのお得なキャンペーン情報や商品情報などを手軽に受け取れますので、お友だち登録してご利用ください。

LINE@アカウント情報

アカウント表示名：日本海信用金庫

友だち登録方法

- 方法1 公式アカウント一覧の検索バーから「日本海信用金庫」で検索して登録する。
- 方法2 「友だち追加」から右のQRコードを読み取って登録する。



※スマートフォン向けコミュニケーションアプリ「LINE」は、LINE株式会社が提供するアプリです。
※LINEのご利用設定はお客様の判断をお願いします。

ホームページも開設しておりますので、ぜひご覧ください。

URL <http://www.shinkin.co.jp/nihonkai/>

※本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てております。また、本資料に掲載する計数は、監査法人の監査を受けておりません。